

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ウォーキング＆ポージング		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ウォーキング＆ポージング	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	国内外で活動するファッションモデルとして東京コレクションなどのブランドファッションショーやスチール広告などの他、ミュージックビデオや企業CM・ラジオなど多岐に渡って出演。ミスターコンテストの日本代表として世界大会に出場した経験も持っている。				
授業概要					
姿勢・視線・表情・考え方等、タレント・俳優・モデルに必要な基本的知識と技術を学び、ウォーキングとポージングの基本技術を通して自己表現の幅を広げていく。					
到達目標					
モデルの基本技術を身に付け、目的に合わせたウォーキング・ポージングができるようになる。また、それを通して自分が目指していくものを具体化していき、自分の表現スタイルを見つける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	・モデルという職業についての基本知識 ・仕事の種類や求められるスキル等について ・普段の生活からの心持ち等				
【前期】 6～10回目	・スタイル、体調管理、体のケア、仕事獲得までの流れ 等について ・基本的な立ち姿、姿勢、歩き方の基礎 ・平靴(スニーカー等)での歩き方について				
【前期】 11～15回目	・ファインダー越しの世界(画角)を知り、自分がどう見えるかの研究 ・基本的なポージング基礎と表情について				
【前期】 16～21回目	・自分の強みとなる角度、表情、歩き方、手の使い方、メイク等について ・自分のクセや苦手分野の克服				
【後期】 22～24回目	・コンボジットの作り方を知る ・革靴やヒールでの基本的な歩き方 ・ターンについて ・テンポに合わせたウォーキングスキル				
【後期】 25～29回目	・服装やテーマに合ったポージング ・仕事ジャンルによる求められるポージングの違いについて ・小物の使い方について				
【後期】 30～34回目	・シチュエーション別の歩き方とポージングについて ・CM等の映像におけるモデルに求められる演技について				
【後期】 35～38回目	・特殊な服装(和装やドレス)でのウォーキングやポージングについて				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ダンス(基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ダンス(基礎)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ダンスチームに所属し、チームとして数々のダンスコンテストで優勝経験を持つ。メジャーアーティストのバックダンサーや、映画、ドラマなどに多数ダンサー出演し、振り付け等も担当。					
授業概要						
身体の姿勢、使い方のチェックから、基本的なステップ(リズムの取り方)を学ぶ。 発表会を通して、ダンスの基本を習得する。						
到達目標						
ステージングや、舞台演出に必要なとなる基本的な動きを習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ストレッチ、アイソレーション リズムトレーニング、体幹トレーニング					
【前期】 6～10回目	BOX リズムとステップの練習曲					
【前期】 11～15回目	リズムステップの練習 コンビネーション					
【前期】 16～21回目	リズムステップチェック 前期試験曲振り付け					
【後期】 22～24回目	課題曲振り付け					
【後期】 25～29回目	振り固め					
【後期】 30～34回目	課題曲振り付け、振り固め					
【後期】 35～38回目	後期試験曲振り付け					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ヴォイトレ＆表現歌唱(基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ヴォイトレ＆表現歌唱(基礎)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	数々のミュージカルの舞台に立ち、ボーカルユニットではツアーやレコーディングなど精力的に活動。現在はボイストレーナーとして、「疲れない声の使い方」を重点的に指導。					
授業概要						
歌を歌う為に必要なトレーニング方法を学ぶ。						
到達目標						
歌唱に必要な基礎技術(呼吸、発声、姿勢、リズム、など)を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	姿勢、腹式呼吸、体幹(身体作り)					
【前期】 6～10回目	基礎を活かし、ブレスコントロール					
【前期】 11～15回目	声帯の使い方、ストレッチ					
【前期】 16～21回目	口腔内の広げ方、表情筋トレーニング					
【後期】 22～24回目	母音歌唱					
【後期】 25～29回目	舌トレーニング、滑舌、子音					
【後期】 30～34回目	響き作り					
【後期】 35～38回目	4月からの応用					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	舞台演技(基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	舞台演技(基礎)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	大学在学中に劇団に在籍。舞台・映像作品への出演を重ねながら殺陣稽古を主催し、パフォーマンス集団の代表を務める。数々の映画やテレビ作品に出演している。					
授業概要						
様々な役を演じ、舞台での演技表現とテクニックを学ぶ。						
到達目標						
舞台上で自由に動ける役者・魅力的なキャラクターを演じられるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ガイダンス(初回)舞台基礎知識座学。アップとして発声滑舌基礎。					
【前期】 6～10回目	アップにシアターゲームを追加し、身体表現・感情解放の基礎を学ぶ。適宜台本レッスン。					
【前期】 11～15回目	授業内発表稽古。短い台本を用いてのミニ公演を行い実践感覚を獲得する。					
【前期】 16～21回目	前期公演稽古。					
【後期】 22～24回目	「間」を上手く使えるようになる為のサブテキスト、舞台上を自由に動く為の行動動機付けレッスンを行う。					
【後期】 25～29回目	エチュードレッスンを行い、自発的表現・客観的視野を養う。					
【後期】 30～34回目	履修の技法を用いた総合的な台本レッスン。進級公演準備。					
【後期】 35～38回目	進級公演準備・稽古					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	映像演技(基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	映像演技(基礎)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	12歳から市民子供ミュージカルの舞台に立ち、大学でミュージカルコースを専攻。卒業後は大劇場や小劇場の舞台から映像、ジャンルも現代劇から時代劇まで幅広く活躍。					
授業概要						
映像台本・CMコンテなどを使用し、実践的に撮影手順・カメラワークを学ぶことによってデビュー後撮影現場(CM、ドラマ、映画)に対応できる力をつける。						
到達目標						
応用的な表現手法を学び、様々な演出に対して演技プランを提示できる俳優を目指す。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ガイダンス 俳優という仕事とは？舞台と映像の同様点、相違点など					
【前期】 6～10回目	シーンレッスン① ワンシーンを分析・カメラの前で演じる・チェック・再度トライ					
【前期】 11～15回目	シーンレッスン② 同じシーンをアップや引きなどで撮り、同じ芝居を何度も行えるようにする					
【前期】 16～20回目	役や動きの引き出しを増やす。現場で自分が用意したものと違うものを求められた時に即座に対応できるようにする					
【後期】 21～29回目	映像制作					
【後期】 25～29回目	映像制作・チェック・反省					
【後期】 30～34回目	参考映像の上映会					
【後期】 35～38回目	撮影と試写の繰り返し、また、お互いを取り合うなどして、シーンを俯瞰して捉えられるようにする					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	業界知識総合講座A		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	業界知識総合講座A	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	元アナウンサー。リポーターやキャスターとして活躍。ラジオでは有名女優のアシスタントを務めたのをはじめ多数出演し、パーソナリティーとしてレギュラーで活躍した。				
授業概要					
芸能界における業界知識を学ぶと共に、業界において自分自身を魅力的に発信していく為のノウハウを学ぶ。					
到達目標					
人前で表現する基礎力を身に付ける。芸能界に進んだ際の対応力を習得すると共に、よりハイレベルな自己発信力を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	芸能界の仕組みについて。人前で表現する基礎力について(話し方)				
【前期】 6～10回目	業界マナーについて(挨拶、自己アピール)				
【前期】 11～15回目	一般常識・ビジネスマナーについて(話し方、メール、敬語)				
【前期】 16～20回目	人前で表現するバリエーションと後期番組制作について(フリートーク、番組制作の準備)				
【後期】 21～24回目	各種SNSの説明とその活用方法について SNSを使用した自己の発信方法について(Youtube Shorts / TikTok / instagram等)				
【後期】 25～29回目	動画制作について(実践)				
【後期】 30～34回目	SNSを使用した自己の発信方法について(実践)				
【後期】 35～38回目	授業内で制作した動画をチェックし、テコ入れ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	オーディション対策(基礎)		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	オーディション対策(基礎)				
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	長年に渡るバレエ・コンテンポラリーダンサーとしての身体感覚と、大学で学んだ解剖学・運動学などの学術的知識を武器に、独自の姿勢改善メソッドで音楽大学にて演奏家のパフォーマンス向上を支える。また、パーソナルストレッチトレーナーとしても活動。他、家業である芸能事務所にて、俳優のマネジメントや経理を担当。					
授業概要						
俳優としてやるべき事を芸能界の商流から明確にし、自立した俳優になる為に必要なことを学ぶ。						
到達目標						
プロフィール写真や用紙の準備などを含め、全て自分で活動出来るようになることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	オリエンテーション 商流					
【前期】 6～10回目	自己分析シート 自己PR研究・発表・フィードバック					
【前期】 11～15回目	メールの基本マナー					
【前期】 16～20回目	事務所選びで大切なこと					
【後期】 21～24回目	プロフィール作成(PC使用) ゲスト講師による講義・フィードバック					
【後期】 25～29回目	学内審査・オーディションに向けて自己PR研究					
【後期】 30～34回目	セルフテープ作成 映像資料作成					
【後期】 35～38回目	プロフィール更新					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ボディメイキング		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ボディメイキング		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	長年に渡るバレエ・コンテンポラリーダンサーとしての身体感覚と、大学で学んだ解剖学・運動学などの学術的知識を武器に、独自の姿勢改善メソッドで音楽大学にて演奏家のパフォーマンス向上を支える。また、パーソナルストレッチトレーナーとしても活動。他、家業である芸能事務所にて、俳優のマネジメントや経理を担当。					
授業概要						
セルフプロデュース力を高めていく為に「食生活・姿勢改善」について徹底的に追究していく。栄養学の基礎を学び、美容健康に効果的な食事メニューを考え日々の生活で実践できるようにする。また、ストレッチとトレーニングを通して無理なく良い姿勢を保持できるようにしていく。						
到達目標						
タレント・俳優・モデルとして常に最高のパフォーマンスを生む為に、自分で自分の身体を管理できるようになること。また、その意識を高めること。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	オリエンテーション・食生活ヒアリング 自分の基礎代謝から計算する炭水化物のちょうど良い量					
【前期】 6～10回目	代謝について 抗酸化作用について					
【前期】 11～15回目	免疫力を高めるために 疲労回復のために 鉄不足にならないために					
【前期】 16～20回目	カルシウムの役割 むくみ&夏バテ予防 自分の食事を振り返る					
【後期】 21～24回目	自律神経について(セルフチェックと対策) 姿勢改善のために(フォームローラー・ピラティス)					
【後期】 25～29回目	骨格の 骨盤の構造・腸腰筋の働き					
【後期】 30～34回目	腹横筋の働き 肩甲骨周りの構造					
【後期】 35～38回目	胸鎖乳突筋・大胸筋・前鋸筋について 大臀筋・中臀筋について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	殺陣&アクション(基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	殺陣&アクション(基礎)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	2003年よりTVドラマ出演し、以降多くのドラマや舞台、映画等で俳優として活躍。国内外で活動する殺陣パフォーマンスチームを主催し、自身も殺陣師としても活動中。					
授業概要						
基本の所作や立ち振る舞いなど、安全を第一に考えて行います。 着付けや型など、殺陣の基本を学びます。						
到達目標						
舞台やドラマで必要になる立ち廻りの基本技術の習得を目標とします。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	【殺陣】帯、袴の付け方、畳み方/刀の構え方、振り方 【アクション】パンチ、キックの打ち方					
【前期】 6～10回目	【殺陣】基本の型19手習得 【アクション】パンチ、キックの捌き方					
【前期】 11～15回目	【殺陣】対面での素振り 【アクション】対面での素振り					
【前期】 16～20回目	【殺陣】1対1の立ち回り 【アクション】1対1の立ち回り					
【後期】 21～24回目	【殺陣】二刀、逆手の基礎稽古 【アクション】回転蹴り、マット運動を使った技の取得					
【後期】 25～29回目	【殺陣】1対複数人の立ち回り 【アクション】1対複数人の立ち回り					
【後期】 30～34回目	【殺陣/アクション】舞台表現の立ち回り					
【後期】 35～38回目	【殺陣/アクション】映像表現の立ち回り					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	セルフスタイリング		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	セルフスタイリング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース、俳優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	二十歳から第一線で活動し、オールラウンダーとして映像や雑誌、企業広告、着物ヘア等々、ジャンル問わず幅広く活躍。					
授業概要						
キッチンとしたメイクの方法やスタイリングを学び、自分をより良く魅せる為のスキルを習得します。						
到達目標						
各場面(普段、ステージ上、プロフィール写真用など)に合わせ、それぞれ異なったメイクやファッションが必要となるので、自分に合った方法を見つけることが目的です。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	・ヘアスタイルとヘアメイクの重要性 ・それぞれの場面(普段、プロフィール、仕事)でのヘアメイクの違いなど					
【前期】 6～10回目	・スキンケアについて ・メイク道具の基礎知識 ・肌の特徴について ・肌のトラブルについて					
【前期】 11～15回目	・顔の特徴について(自分の顔を分析する) ・パーソナルカラーについて(自分が得意な色味を知る) ・フェイシャルマッサージについて					
【前期】 16～20回目	・ベースメイクについて ・眉毛のメイクや整え方 ・目元のメイク(アイライン、アイシャドウ)					
【後期】 21～24回目	・チーク・リップ ・ヘアメイクとの組み合わせ方 ・ヘア道具(コテ、ヘアアイロンの使い方)					
【後期】 25～29回目	・スタイリング剤の種類と使い方 ・服装について ・自分の体にあったサイズの選び方、色の組み合わせ方					
【後期】 30～34回目	・服装での季節感について ・メイクとの合わせ方 ・流行のファッション、カラーについて ・小物の使い方					
【後期】 35～38回目	・ヘアスタイル、メイク、ファッションを総合した自分のプロデュース ・自分らしさを生かしたキャラクターの作り方 ・ヘアメイクの重要性					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	分野別講座	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	声優養成コース、俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師				
授業概要					
専攻コースの授業内では習得の難しい様々な分野の基礎知識を、動画配信によるオンライン授業形式で行う。					
到達目標					
自身が音楽・芸能活動や仕事を行う上で、大半の事は自分で理解・判断し、達成への方法論を自ら考え出せる事を目標とする。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	・卒業後の進路に向けて①(デビュー・業界知識) ・音楽活動における基礎知識①(リハーサルスタジオの使い方)				
【前期】 6～10回目	・楽器の基礎知識①(ギター、ベース、ドラム) ・音楽業界基礎知識①(コンサート制作)				
【前期】 11～15回目	・イベントの基礎知識(レコーディング、PA、照明) ・発声の基礎知識①(台詞、滑舌、歌唱)				
【前期】 16～20回目	・一般教養①(メールと電話、敬語) ・身体表現の基礎知識①(ボーjing)				
【後期】 21～24回目	・卒業後の進路に向けて②(就職) ・身体表現の基礎知識②(ダンス) ・音楽活動における基礎知識②(譜面の読み方・書き方、ボーカロイド)				
【後期】 25～29回目	・パソコンの基礎知識(Word、Excel、Photoshop、illustrator) ・所得税と源泉徴収・確定申告 ・消費税とインボイス制度				
【後期】 30～34回目	・身体表現の基礎知識③(ボディサイエンス、脚本演出) ・発声の基礎知識②(アフレコ)				
【後期】 35～38回目	・音楽業界基礎知識②(著作権) ・一般教養②(ビジネスマナー) ・表現応用(イベント研究)				
評価方法	各授業後のレポート、出席率等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	声優芸能実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	声優芸能実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)		年間授業数	10回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース、俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等					
授業概要						
それぞれのイベント等における対応、現場における進行の様子・作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	舞台観劇 特別授業、イベント					
【前期】 4～5回目	前期公演					
【後期】 6～7回目	オーディション対策特別授業					
【後期】 8～10回目	特別授業、イベント 進級公演					
評価方法	授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価					
備考						